

ネットワーク形態	概要	利用者のメリット・デメリット	ネットワーク形態のイメージ
デマンド	<p>【運行の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの予約に基づき、利用時間帯や利用場所から、乗合で運行するもの <p>【運行方式】</p> <p>①フルデマンド形式</p> <p>→任意の場所（自宅）から目的地まで</p> <p>②セミデマンド形式（常盤東の形態）</p> <p>→基本的には設定されたバス停間の利用</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般的には路線バスと同様の運賃設定となるため、利用者にとっては安価なタクシーのような状態となり、タクシー事業者の圧迫が懸念される 	<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フルデマンドの場合、ドア to ドアの移動が可能で、歩行距離が少なくできる ・利用者の都合に合わせた利用が可能 <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フルデマンドの場合、台数が限定される状況下では利用者間の取り合いが生じ、利用できない場合がある ・乗合は生じづらいが、乗合が多く生じた場合には、目的地への到着時刻が不正確となる ・予約をする必要があり、急な利用では利用しづらい 	<p>フルデマンド方式</p> <p>セミデマンド方式→</p>
ゾーンバスシステム	<p>【運行の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者実績などにより、需要が大きい区間と小さい区間で運行形態を分けて運行するもの ・需要が大きい区間は定時定路線で本数を多く確保し、需要が小さい区間は他の形態で地域内から結節点へと輸送する <p>【運行方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要が大きい区間 <ul style="list-style-type: none"> →定時定路線の市民バス ・需要が小さい区間（エリア） <ul style="list-style-type: none"> ①シャトルバスの代替輸送、スクールバスを活用した代替輸送など ②タクシーチケットによるタクシー輸送など ③デマンド運行 	<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要が大きい区間では、運行本数の増加と運行時間の短縮により、利便性が向上 ・短縮された区間ではダイヤの調整が容易となり、需要が小さい区間では需要に適した細かな運行が可能となる <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要が小さい区間では、中心市街地への移動に乗り換えを要する（デマンドなどに変更した場合は予約も必要） 	<p>需要が大きい区間</p> <p>需要が小さい区間</p> <p>時間短縮・本数増加</p> <p>代替手段が地域の結節点へと輸送する</p>
定時定路線 （現在の主な運行形態）	<p>【運行の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約の有無や利用者の大小に関わらず、運行経路上であれば誰しもが利用可能なもの <p>【運行方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時定路線 	<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区から中心市街地への移動が概ね可能 ・今まで慣れ親しんだダイヤを利用できる <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が少ない区間が存在する ・主に通勤、通学における鉄道との乗り継ぎが不便 	

運用方式	概要	利用者のメリット・デメリット	利用可能な時間帯・曜日のイメージ
時間帯別運行	<p>【想定される運用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝、夕は定時定路線で信濃大町駅へ直通運行し、通勤や通学の需要に対応する ・日中はデマンドまたは定時定路線により、買い物や通院などの需要に対応する 	<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の通勤通学は、直通運行により速達性が向上 ・日中は各地区から中心市街地への移動が担保される <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし （日中を定時定路線の減便とする場合は、本数減少による利便性の低下） 	<p>朝 日中 タ</p> <p>パターン1 定時定路線 → フルデマンド → 定時定路線</p> <p>パターン2 定時定路線 → セミデマンド → 定時定路線</p> <p>パターン3 定時定路線 → 定時定路線（経路・ダイヤを変更） → 定時定路線</p>
曜日別運行	<p>【想定される運用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝、夕は定時定路線で運行し、通勤や通学の需要に対応する ・日中は、定時定路線の隔週曜日運行を行う 	<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の通勤通学は、定時定路線により主に市内への移動が担保される <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中の移動については、利用できない曜日が発生する 	<p>←日中に定時定路線のバスが運行する曜日のイメージ</p>